

# 教育支援システムの変遷

---

文京学院短期大学  
浜 正樹

# 目次

- 文京学院大学・短期大学の概要
- 教育支援に関する要求の変遷
- 要求の検討ポイント
- その他の検討ポイント
- システムの変遷
- Moodleの活用
- Salesforce と Maharaの併用
- まとめ

# 文京学院大学・短期大学の概要

## ■ 大学【4学部】

- 外国語学部
- 経営学部
- 人間学部
- 保健医療技術学部

## ■ 短期大学【1学科】

- 英語科

## ■ キャンパス所在地

- 東京都文京区
- 埼玉県ふじみ野市

## ■ 規模

- 各キャンパス約2000人



# 教育支援に関する要求の変遷 -本郷キャンパス-

## 1. 2006 年

- 1年生必修授業におけるレポート管理
- 専門授業やゼミにおけるディスカッション機能

## 2. 2008 年

- 初年次教育におけるポートフォリオの導入

## 3. 2009 年

- ポートフォリオの電子化
  - 初年次教育やキャリア指導に活用
- 学生の指導履歴の記録保全と共有

# 要求の検討ポイント

## ■ 理念

- 「ひとりひとりを大切にする」少人数教育

## ■ インターフェース

- ユーザー(教員・学生・職員)の情報リテラシー能力のばらつき
- 容易なアクセス権付与と安全なデフォルト設定

# その他の検討ポイント

- 普及のために
  - 教員の「一手間」を省く運用
- 学内調整のために
  - 導入時の「見た目」のコスト低減

# システムの変遷

## ■ 普遍的な要件

- 導入コストの低減
- 柔軟にカスタマイズ可能
- 可用性・機密性については、用途によって調整

## ■ 採用システムの変遷

1. Moodle (OSS)
2. Force.com+Mahara (PaaS+OSS)
3. OpenPNE (OSS + アウトソーシング)

# Moodleの活用 [1]

## ■ 用途

- 授業での課題レポート管理・ディスカッションなど
- 専攻・コースの希望調査

## ■ 導入における工夫

- GPL公開ソースの利用
- 自前でのソース解析と開発ベンダーの併用



# Moodleの活用 [2]

## ■ 運用面での工夫

- 教員の授業統制の支援
  - コース登録サービス
- 学生達の授業運営への参加を促進
  - コース管理アカウントの学生への提供
- 教員の手間を省いて利用を促進
  - 課題レポート印刷サービス

# Moodleの活用 [3]

文京学院大学・短期大学学習支援サイト

あなたはログインしていません。(ログイン)

日本語 (ja)

コースカテゴリ

外国語学部	23
2008年度	5
経営学部	38
2008年度	1
保健医療技術学部	5
短期大学	10
2008年度	
大学院経営学研究科	2
Bunkyo英語スキルナビ(外短共通)	1
図書館	1

コースの検索:

あなたはログインしていません。(ログイン)

文京学院大学・短期大学学習支援サイト

あなたは 藤原 朋子 としてログインしています。(ログアウト)

日本語 (ja)

コース一覧

2年Hグループ

BESG

Communicative English I - 月々2

Communicative English I - 月々1

JE(a) & ME

Reading(Insights for Today)

あなたはログインしていません。(ログイン)

情報処理演習 I

あなたは 藤原 朋子 としてログインしています。(ログアウト)

日本語 (ja)

トピックアウトライン

ニュースフォーラム

1 Moodle利用説明

1. ログイン方法

MoodleのログインはWebサイトのログインと似ています。Webサイトのログインを変更しても、Moodleのログインは変更されませんのでご注意ください。ログイン変更時はご注意ください。

2. 課題提出

授業内で各担当教員より、Moodleでの課題提出指示があった場合にご利用する機能です。課題の提出期限などは各担当教員の指示に従ってください。

3. 資料の閲覧とダウンロード

授業の資料などが表示されます。事前資料や予習など、必要に応じて印刷、もしくはダウンロードして学習で使ってください。

4. 課題提出

資料(新しいMoodleユーザー)

あなたはログインしていません。(ログイン)

情報処理演習 I

あなたは 藤原 朋子 としてログインしています。(ログアウト)

日本語 (ja)

この課題を再更新する

この課題を再更新する

今日の授業の感想をWordで書いて提出してください。

用途サイズ: A4

枚数: 1枚

※ただし、以下の注意を守ってください。

- ファイル名は半角英数字とする。(日本語ファイル名は不可)
- 文書はWordで作成する。
- 文書内に学号番号と氏名も必ず入力する。

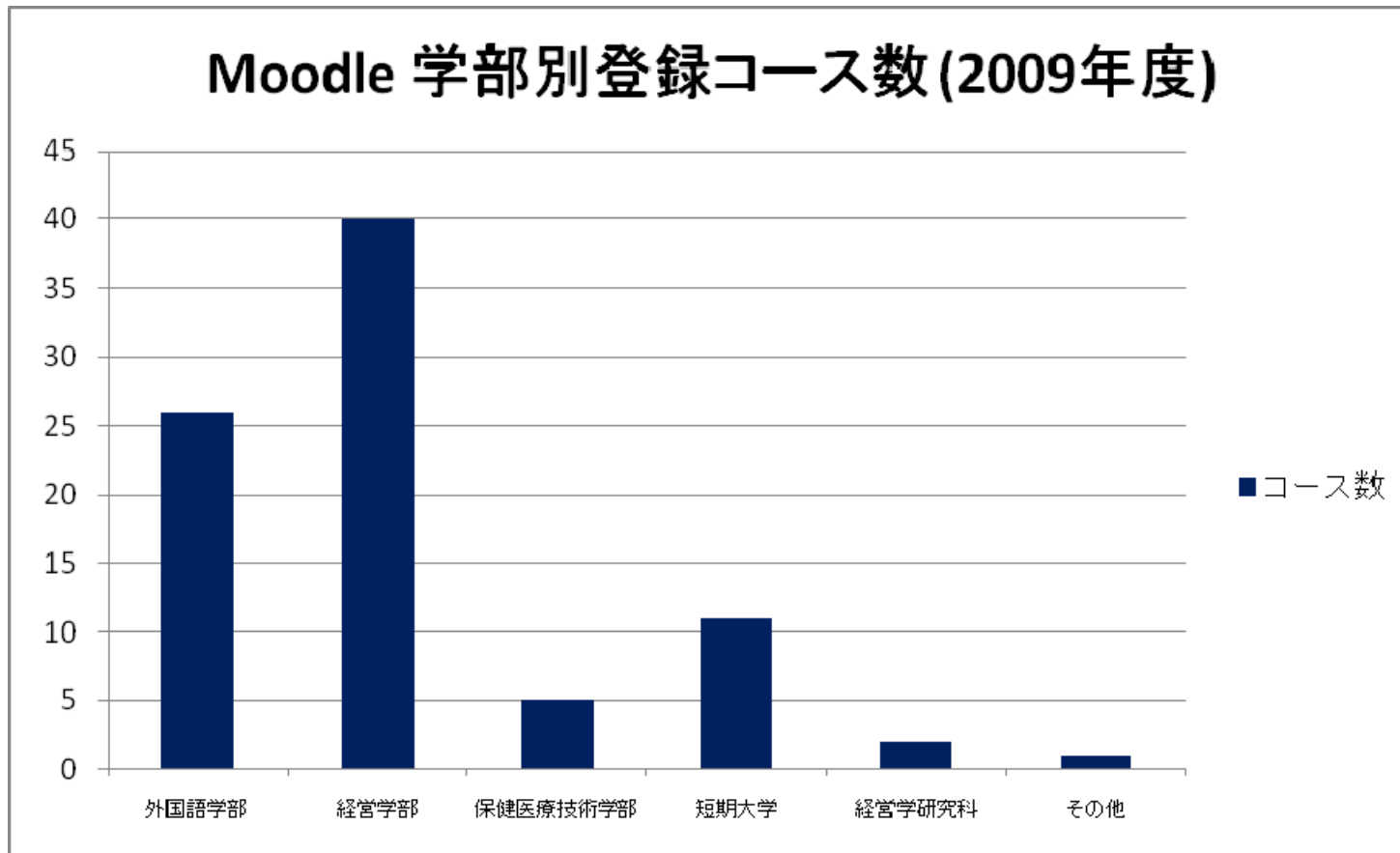
提出期限

ファイルをアップロードする (最大サイズ: 512MB)

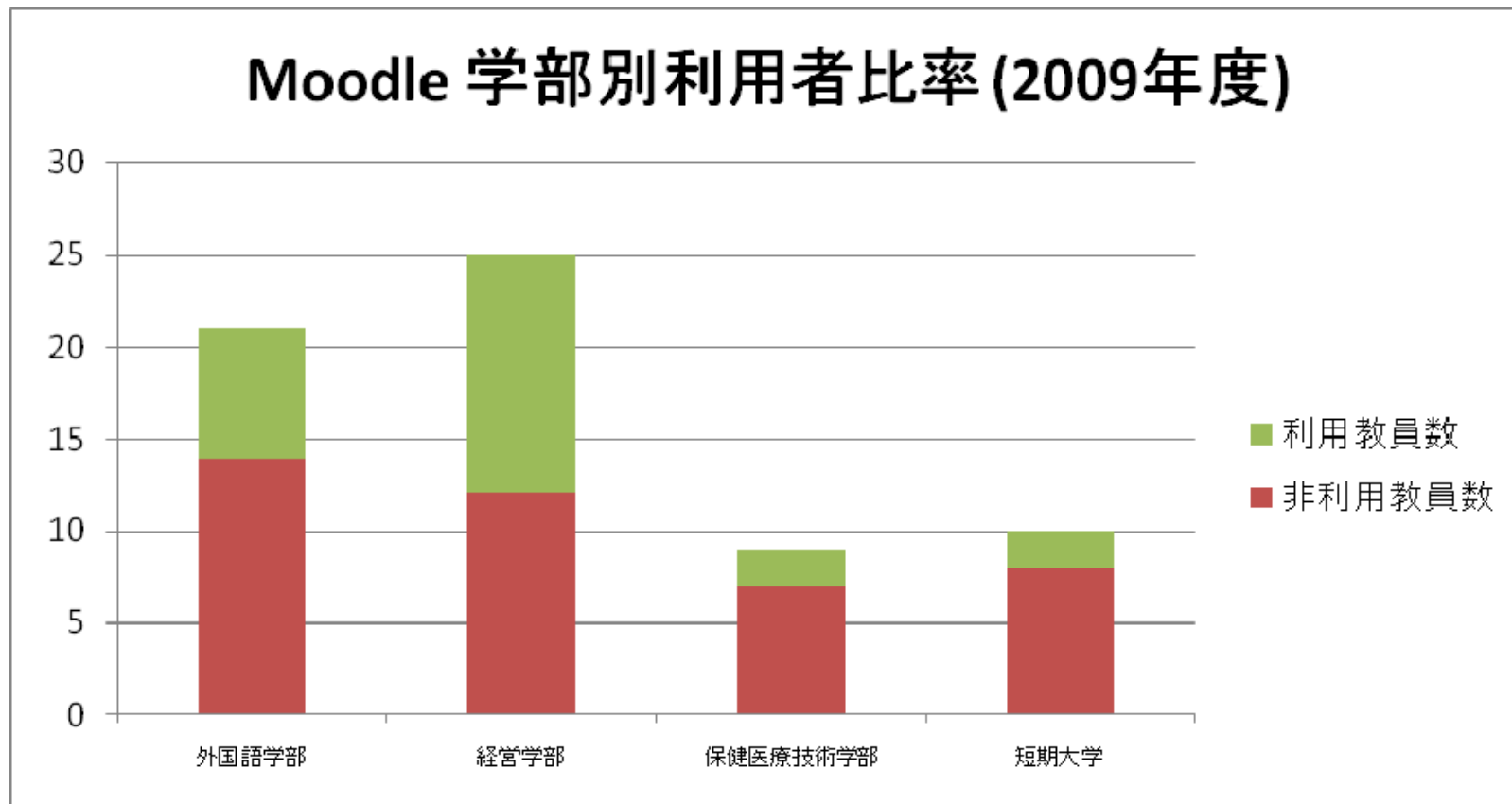
このファイルをアップロードする

あなたはログインしていません。(ログイン)

# Moodleの活用 [4]



# Moodleの活用 [5]



# Salesforce と Maharaの併用 [1]

## ■ 定型的な質問と回答

- 初年次教育
- キャリア指導

## ■ プライバシー情報と個人情報

- 学生生活指導記録

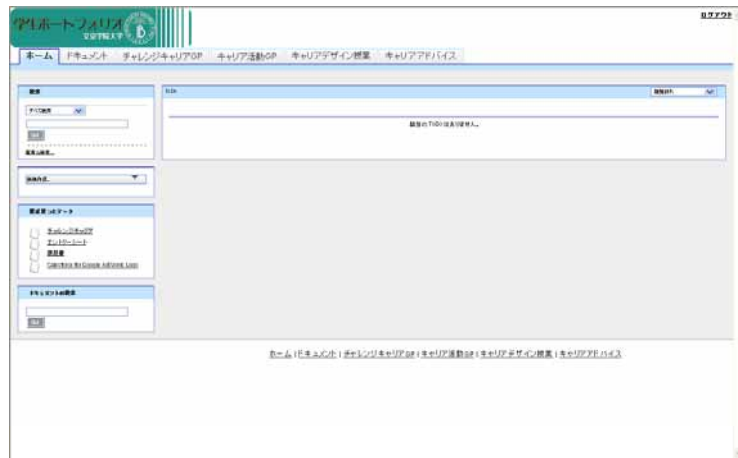
情報のクリティカル度によって利用システムを区別

# Salesforce と Maharaの併用 [2]

## 言葉・用語

	作成者	閲覧可能者	システム
<b>電子ポートフォリオ</b>			
電子学生ポートフォリオ	学生	当該学生、教職員	Salesforce(クラウドコンピューティング)
電子キャリアポートフォリオ	学生	当該学生、教職員	Salesforce(クラウドコンピューティング)
<b>電子指導履歴システム</b>	教職員	教職員	Mahara (学内サーバー)

# Salesforce と Mahara の併用 [3]



# Salesforce と Mahara の併用 [4]





## Salesforce と Maharaの併用 [5]

### ■ クラウドコンピューティング活用の課題

- 教育機関用の仕様を開発者側が熟知していない
- 機密性・完全性・可用性のレベルが指定不可
- 学外(国外)でのデータ保存
- データのバックアップ形態の柔軟性が不足
- バックアップデータのポータビリティの低さ

**リスクを認識した上で、非クリティカルな情報を扱う**

# まとめ

## ■ 技術の進化とシステム選定

- 普遍的な要件をベースに、「身の丈に合った」システムを常に検討
- コストやリスクを教員に熟知してもらう

## ■ 運用技術者の育成

- 教員の目標を正確にヒアリングし、的確な運用に結び付ける人材が必須
- 教育支援業績を評価する体制が重要